

山形県青年の家よりお知らせしています

# 山青の風

# 春号

発行日 令和8年4月7日  
発行 山形県青年の家研修課  
〒994-0032 天童市小路1-7-8  
TEL 023-654-4545 FAX 023-652-2007

## 協働と挑戦の体験から青少年を育成する

### 所長挨拶

所長 地主 佳子

桜も次々と開花し、春の訪れを満喫する今日この頃となりました。この4月から本所所長として勤務しております。どうぞよろしくお願いいたします。昨年度からスタートした山形県第7次教育振興計画を踏まえ、本所におきましても、一人一人のウェルビーイングと多様性を重視した持続可能な社会の実現に向け、「県民みんなで挑戦する教育」を目指してまいりました。多様な地域活動やボランティア活動をとおして、互いに尊重しあう豊かな心を育み、持続可能な社会づくりへの参画を促し、自立と共助の精神に満ちた健全な青少年を育成することを教育目標としています。今年度も、人と社会がつながる多様な交流・体験活動の機会を提供したり、学校や関係機関・団体とつながりながら、郷土愛の醸成や課題解決力の育成、次代を担う人づくりに取り組んでいくこととしています。具体的な運営の重点としては、主に次の内容となります。

#### 1 研修プログラムの開発・提供（主催事業）

青少年ボランティア活動および指導者支援の充実を図っていきます。

#### 2 県域における青少年地域活動・ボランティア活動推進事業（主管事業）

YYボランティアサークルの活発な活動を支援していきます。

#### 3 関係機関・団体との協働の推進

研修プログラムの質の向上のために、関係機関・団体との一層の連携を進めていきます。本紙「山青の風」、本所ホームページ、インスタグラム、X、YouTubeなどで、本所で開催された事業の紹介と青少年の健全育成に資する情報を発信してまいります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



赤井前所長のから地主所長へ

↓赤井芳賀寿前所長からのメッセージ↓

歴史ある施設の運営と青少年ボランティアの志を支えた1年間は、私には大変貴重でした。人口減少の中で我々「大人」こそ創意工夫して、青少年の「つながり」や「体験」をファシリテートしていくことが持続可能な幸福に到着できると思っております。皆様からの温かいご指導に心より感謝と、青年の家の飛躍を願っております。

#### 2026 県青年の家 STAFF

所長 地主 佳子（山形市立商業高校） 前所長 赤井芳賀寿（南陽高校長へ）  
次長 菅 英宏（山形西高校） 前次長 武田 篤（山形西高校シニア専門員へ）  
研修課長 吉田 幸宏（2年目） 前研修主査 土橋 明晃（県生学課青少年教育主査へ）  
研修主査 高橋 良治（2年目）  
研修主査 多田 貞春（山形中央高校）  
事務員 茂木 優子（10年目）

#### <令和8年度 県青年の家事業（予定）>

- 5/28・29（木・金）ボランティア指導者研修会
- 6/14（日）社会づくり体験「SDGs×スポGOMI」
- 8/4（火）青少年ボランティアセミナー 1回目
- 9/13（日）防災×若者フォーラム2026
- 10/18（日）ボランティアミーティング2026
- 12/6（日）青少年ボランティアセミナー 2回目
- 12/13（日）地域をつくるリーダーセミナー
- 通年：青年の家ユースネットサークル「ニコこえ」支援、「山形Make Lemonadeプロジェクト実行委員会」支援
- 出前講座（アイスブレイキングによる集団づくり、ボランティア講座） ＊詳細は青年の家HP参照！

### 青年の家がキレイになりました！



令和6年度からの外壁工事が完了し、外壁はピカピカに生まれ変わり、窓枠も鉄からアルミサッシになりました！当施設は、年々さらに快適にご利用いただけるよう、どんどん環境整備を進めています。充実した環境でありながら、リーズナブルな料金で利用できるのも青年の家の大きな魅力です！研修や部活動、サークル活動など、使い方は自由自在。もっと多くの方にこの快適な空間をご活用いただきたいと願っています。新しくなった青年の家へ、ぜひご利用ください！

## 主催事業「SDGs×地域文化」

令和8年2月1日、山形県青年の家にて「SDGs×地域文化」をテーマとした事業が開催されました。本事業は、尾花沢市の地域おこしに関する講演と、正調花笠踊りの体験を通して、山形の魅力と伝統文化を学ぶものです。当日は高校生を中心に23名が参加しました。アンケートでは、講演に対して85.7%、体験活動に対して90.5%の参加者が「とてもよかった」と回答し、非常に高い評価を得ました。地域の持続可能性（SDGs）と伝統文化を掛け合わせた学びにより、参加者の郷土愛を深め、将来の地域づくりを担う若者にとって大きな刺激となる有意義な成果を上げました。



## 山形Make Lemonadeプロジェクト

県青年の家に事務局をおく、「山形Make Lemonadeプロジェクト実行委員会（YMLP）」では、去る2月19日に、山形大学医学部小児科に支援金等を贈呈しました。2025年度（3年目）も、33の学校、67の企業・団体、10のボランティアサークルなどから大変多くの方々にご協力をいただきました。ご協力のおかげで、合計1,913,967円もの支援金が集まりま↓YMLP紹介↓。当日はリーダーの平田寧々より、小児科学講座の三井教授へ目録および支援物品が手渡されました。 [詳細はこちら→](#)



↓レタ趣意書↓



## 《2・3月もご利用いただきありがとうございました》

【宿泊】

・やまがたの自然の魅力！満喫プロジェクト・東根中部小学校6学年評議委員・郡山ハンドボールスポーツ少年団・台湾 彰化県文興高校・山形大学競技舞蹈部・JK B（スノーボード）・長井市子ども会育成会連絡協議会・新田剣道クラブ・宇都宮市立泉が丘中学校剣道部・柏市立逆井中学校剣道部・小山市立豊田中学校剣道部

【日帰り】

・天Jソフトテニス・TGBスポーツ少年団（ソフトテニス）・AT4（ソフトテニス）・SPT（ソフトテニス）・1st. Rev. BC（バスケットボール）・T3B（バスケットボール）・干布メイプルズ（バスケットボール）・HOOP is LIFE（バスケットボール）・山口バドミントンスポーツ少年団・山形サンケン（バドミントン）・ひがしねバレーボール同好会・村山徳内VC（バレーボール）・山形市立第八中学校男子バレーボール部・山形スマイルガールズ・東桜かるた練習会・放課後等デイサービスつぼみ・山形県断酒連合会・株式会社 ダイユエイト・株式会社 山形ビルサービス・ボランティアサークル「nicoこえ」・YMLP・山形県生涯教育・学習振興課「教育事務所等社会教育主事等会議」・山形県生涯教育・学習振興課「成人期・高齢期教育担当者研修会」・SDGs×地域文化・青少年地域活動・ボランティア活動県推進会議

## 山青グラフィティ

昭和42年当時の公用車は、日産 グロリアワゴンでした。当時は、トヨタのクラウンワゴンと双璧をなす国内最高峰の高級ステーションワゴンとして高い評価を得ていました。公用車や社用車として信頼される一方で、広い荷室を活かしてレジャーを楽しむファミリー層や富裕層からも支持されていました。



青年の家SNS

